

第1回 ANSHIN デザイン研究会の御案内

京都芸大ビジュアルデザイン専攻と京都大学教員有志による「ANSHIN のデザインプロジェクト <http://anshin-design.net/>」では、情報や意見交換の場としまして、定期的なセミナーを開催しております。

このたびは、「第1回 ANSHIN デザイン研究会」といたしまして、インクルーシブデザインなどの多数のワークショップを手がけておられる塩瀬隆之氏に話題提供いただき、自由討論する場を設けさせていただきます。

◆日時：平成26年11月12日（水）16:00～18:00

◆場所：キャンパスプラザ京都 京都大学サテライト講習室（6階第8講習室）

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

キャンパスプラザ京都へのアクセス

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

◆プログラム

時間	概要
16:00～16:05	ご挨拶
16:05～17:00	話題提供 「インクルーシブデザイン—社会の課題を解決する参加型デザイン—」 塩瀬 隆之氏（京都大学総合博物館准教授）
17:00～18:00	自由討論

◆主催：ANSHIN デザインプロジェクト

◆定員：30名程度

◆参加費：無料

◆参加申し込み：

参加ご希望の方は、ご所属、お名前、メールアドレスを明記の上、下記アドレスまでご連絡ください。

・申し込み／問い合わせ先

[contact\(アットマーク\)anshin-design.net](mailto:contact@anshin-design.net) ((アットマーク)を@に置き換えてください)

・申し込み締切：11月10日（月）

（資料の準備などがございますので、事前申込にご協力お願いいたします）

・当日は、お名刺を2枚ご準備ください。

ANSHIN のデザインプロジェクト

京都芸大代表者:ビジュアルデザイン研究室 教授 辰巳明久

「インクルーシブデザイン—社会の課題を解決する参加型デザイナー—」

塩瀬 隆之氏

京都大学 総合博物館 准教授
前 経済産業省 産業技術政策課 課長補佐



■プロフィール

京都大学 総合博物館 准教授。1973年、大阪生まれ。

京都大学工学部卒業、大学院修了。博士（工学）。

2012年から経済産業省に技術戦略担当課長補佐として出向。2014年7月に京都大学に復職。黙して語らず、されど師匠から弟子に伝わる技の伝承から始まり、視覚に障害のある人との言葉でみる美術鑑賞まで、一見して難しそうなコミュニケーションの研究を通じて、「伝わりとはなにか」の本質に関心をもつ。現在、高齢者や障害のある人をもものづくりプロセスに巻き込むインクルーシブデザインのワークショップを100回以上重ね、「ために」から「ともに」へと社会が変わるコミュニケーションの場づくりを実践する。立場や能力、文化の異なる人々が、お互いを高めあい、豊かに成長できる社会づくりの作法を学ぶ上で、インクルーシブデザインの手法が示唆に富むとして、その紹介を続けている。

妊婦さんと万歩計、目の見えない人とカーナビゲーション。一見するとそのプロダクトやサービスからは縁遠いと思われる方に届くような大きな視点の転換を起こすデザイン手法、そんな越境と結合からイノベーションは生まれてきます。インクルーシブデザインにおいては、障がい者を英語で **disable person**(できない人)から **disabled person**(できなくさせられている人)とした表記の移行を基点にしています。あらゆるプロダクトやサービスがインクルーシブにデザインされた社会こそが、立場や能力、文化の異なる人々が、お互いを高めあい、豊かに成長できる包容力のある社会であると信じています。

参考図書

<http://www.amazon.co.jp/dp/476152569X>